

第80回 教育祭

教育祭は、1934年9月に近畿地方を襲った第一室戸台風により、命を失った児童・生徒や教職員を悼むために始まりました。そして、再び不幸な出来事が起こらないことを願って、全国の教育関係者の呼びかけで大阪城公園に「教育塔」が建てられました。

それ以来、不慮の事故や災害などにより命を失った児童・生徒、教職員、保護者、教育関係者を追悼する教育祭を毎年10月に開催し、戦後は日教組が管理、運営を引き継いでいます。今年80回を数え、10月

25日（日）に開かれ福井県から22名の方が参列しました。

今年は新たに12名の合葬が認められ合葬者総数は27,243名となりました。

福井県から新しい合葬者はいませんが、これまでに303名もの子どもや教職員が合葬されています。

悲しい事故が教育現場で起きないように、日頃から健康や安全面について、互いに気をつけ、また助け合っていきましょう。

